

EUSI メールマガジン Vol. 049

「西アフリカにおける EU の対テロ戦略とボコ・ハラム問題」(佐藤量介)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の 3 校のコンソーシアムによる EU に関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)

http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 034】

「西アフリカにおける EU の対テロ戦略とボコ・ハラム問題」

佐藤量介 (EUSI 研究員(法律))

2014 年 6 月 2 日、EU は、ナイジェリア北部に拠点を置くイスラム教過激派集団ボコ・ハラム (Boko Haram) を対アル・カイダ制裁リストに追加した (Commission Implementing Regulation (EU) No. 583/2014)。これは、国連アル・カイダ制裁委員会が同集団を金融制裁・武器禁輸リストに追加したことを受けての措置である。

「西洋の教育は罪」という意味の名を掲げたボコ・ハラムは、2009 年ごろから活動を活発化させ、ナイジェリア治安当局に対するテロ攻撃や市民 (特にキリスト教徒) 殺害などを行ってきた。本年 4 月、学生寮を襲撃して女子生徒 270 名を拉致し、「彼女らを売り飛ばす」との犯行声明映像を配信したテロ集団を記憶されている方も多いと思うが、この集団がボコ・ハラムである。アルジェリア人質拘束事件の犯人が属していた「イスラム・マグリブ諸国のアル・カイダ (Al-Qaida au Maghreb islamique: AQMI)」や、ソマリアのイスラム過激派「アル・シャバブ (Al-Shabaab)」とのつながりも指摘されており、その存在はナイジェリアのみならず、西アフリカ地域の平和及び安定にとっても脅威になりつつある。

このテロ集団については、EU も数年前よりその存在を認識しており、次に挙げる二つの枠組みを通じ、何かしら対応する機会を有していたと思われる。ひとつは、アフリカ・カリブ海・太平洋諸国 (ACP 諸国) との間で締結したコトヌー協定 (Cotonou Agreement) に基づくナイジェリアとのバイラテラルな関係を通じて。もうひとつは、2011 年に策定し既に実施に移されている「サヘル地域における安全保障及び開発のための戦略 (Strategy for Security and Development in the Sahel: SSDS)」を通じてである。

まず、ナイジェリアとのバイラテラルな関係を通じての EU の対応を確認したい。EU は、2004 年より、世界第 7 位の人口とアフリカ最大の産油量を誇る西アフリカの地域大国であるナイジェリアとの政治的対話及び協力関係の発展に努めてきた。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol34.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI 政治プロジェクト講演会

日時: 2014 年 7 月 7 日(月) 18:00-19:30

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎 7 階 473 号室

申込: 無料・参加自由

佐々木優 (米ワシントン大学大学院政治学研究科博士課程)

「Was Stein Rokkan Right? Timing of State-building and its Implications
for Linguistic Diversity in Contemporary Europe」

(スタイン・ロッキンは正しいか? - 国家建設のタイミングと現代ヨーロッパ
の言語の多様性に対する示唆)

http://eusi.jp/content_jp/research/seminar-research/20140707rokkan.html

2. EUSI 公開シンポジウム

「ウクライナ危機と欧州の将来 (1) - 欧州の視点から」

日時: 2014 年 7 月 11 日(金) 15:00-17:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 G-SEC8 階ホール

申込: 無料・参加自由

講演者(パネリスト):

六鹿茂夫 (静岡県立大学大学院国際関係学研究科教授)

東野篤子 (筑波大学大学院人文社会系国際公共政策専攻准教授)

鶴岡路人 (防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室主任研究官)

司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授)

http://eusi.jp/content_jp/research/seminar-research/eu-ukraine20140711.html

3. EUSI 津田公開講座「EU における移民政策・多文化主義」

日時: 2014 年 7 月 12 日(土) 13:00-17:00

場所: 津田塾大学小平キャンパス 7 号館 7101 教室

講演:

「ドイツにおける移民統合と多文化主義」

昔農英明 (津田塾大学・一橋大学非常勤講師)

「オランダにおける多文化主義とトルコ系イスラーム組織・クルド組織の活動」

寺本めぐ美 (津田塾大学大学院)

「スウェーデンの移民政策と多文化社会の現状と問題点」

清水謙 (東京大学大学院)

討論: 浪岡新太郎 (明治学院大学准教授)

司会・開会挨拶: 網谷龍介 (津田塾大学教授)

参加: 無料・申込み要

申込・問い合わせ先: EUSI 津田分室 eusi@tsuda.ac.jp

http://eusi.jp/content_jp/research/seminar-research/tsuda_publiclecture20140712.html

4. EUSI 公開シンポジウム

「ウクライナ危機と欧州の将来 (2) - ロシア・ウクライナの視点から」

日時: 2014 年 7 月 25 日(金) 15:00-18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 G-SEC8 階ホール

申込: 無料・参加自由

講演者(パネリスト):

松里公孝 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

岩間陽子 (政策研究大学院大学教授)

藤森信吉 (北海学園大学非常勤講師)

中村亮 (外務省欧州局中東欧課長)

司会: 田中俊郎 (慶應義塾大学名誉教授)

http://eusi.jp/content_jp/research/seminar-research/eu-ukraine20140725.html

【EU に関するニュース】

2014 年 6 月 1 日 欧州対外行動庁(EEAS)報道官、労組デモの拘束者を解放するブノンペン市裁の裁定を歓迎

2014 年 6 月 2 日 欧州委員会、2014-15 年の成長・雇用・財政改革に向けた加盟国毎の経済政策勧告を採択

2014 年 6 月 2 日 欧州委員会、持続可能な開発目標(SDGs)交渉への政策文書採択。優先分野や潜在的目標を提案

2014 年 6 月 2 日 欧州委員会、蘭・ベルギー・チェコ・デンマークなど 6 加盟国の過剰財政赤字是正手続を終了

2014 年 6 月 2 日 EU・ロ・ウクライナ三者エネルギー閣僚会談開始。ガス供給支払や価格問題など協議

2014 年 6 月 2 日 ムーディーズ、欧州議会選挙で懐疑派躍進の仏・ギリシャ 2 国の格付をネガティブ指向と評価

2014 年 6 月 3 日 ファン＝ロンパイ議長・バルローズ委員長、ポロシェンコ・ウクライナ大統領選出に祝意の信書

2014 年 6 月 3 日 欧州対外行動庁(EEAS)、パレスチナ統一政府樹立発表に対して歓迎の声明

2014 年 6 月 3 日 欧州委員会、民間ロボット研究開発計画開始。「euRobotics」枠組と共同で 28 億ユーロを拠出

2014 年 6 月 3 日 Eurostat、4 月ユーロ圏失業率は 11.7%で前月比 0.1%減も、スペインなど南欧で依然高水準

2014 年 6 月 4 日 日・EU 首脳会談、G7 首脳会議と併行して開催。EPA・SPA 交渉の加速やウクライナ情勢など協議

2014 年 6 月 4 日 欧州委員会、8 加盟国のユーロ導入進捗評価収斂報告。リトアニアの 2015 年ユーロ圏参加提案

2014 年 6 月 4 日 アシュトン上級代表ら、国連パレスチナ難民救済機関(UNRWA)への支援に関する共同声明署名

2014 年 6 月 4 日 Eurostat、今年 1-3 月ユーロ圏 GDP 伸び率(改定値)は前期比 0.2%増、前年同期比 0.9%増と発表

2014 年 6 月 4 日 BBC ら各国(EU 含む)好感度調査。EU は「好影響」評価は 47%で世界 6 位も前年比-2%で過去最低

2014 年 6 月 4-5 日 EU 及び先進 7 カ国首脳会議、経済・ウクライナ問題などの共同声明。対ロ追加制裁可能性言及

2014 年 6 月 5 日 ECB 定例政策委員会、主要政策金利を 0.15%と過去最低、中銀預金金利も初の-0.10%へ引下げ

2014 年 6 月 5 日 EU、エジプト大統領選挙委員会のシーシ氏当選発表を受け、同氏への祝意と民主化促進の声明

2014 年 6 月 5 日 欧州対外行動庁(EEAS)、パレスチナ統一政府発足直後のイスラエルの入植計画発表に失望声明

2014 年 6 月 5 日 エンリア欧州銀行監督機構(EBA)議長、EU 内の銀行員賞与抑制規則を回避する取組の調査を示唆

2014 年 6 月 5 日 Eurostat、4 月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏 18 カ国で前月比+0.4%、EU28 カ国で同+0.6%

2014 年 6 月 6 日 ノルマンディー上陸作戦 70 周年記念式典。英独仏首脳ら、個別にプーチン露大統領と会談

2014 年 6 月 7 日 ファン＝ロンパイ議長、ウクライナのポロシェンコ大統領就任に対して祝意の声明

- 2014 年 6 月 9 日 欧州対外行動庁(EEAS)、コンボ議会選挙に対して祝意ならびに経済改革などへの期待声明
- 2014 年 6 月 10 日 メルケル独首相、ユンケル氏を次期欧州委員長に推す意向表明。キャメロン英首相は反対意向
- 2014 年 6 月 10 日 欧州委員会、円金利デリバティブ市場のカルテルの疑いで英金融ブローカーICAP に異議告知
- 2014 年 6 月 10 日 モガダム IMF 欧州局長、EU は財政ルールを簡素化した上で執行を強化すべきとの見解表明
- 2014 年 6 月 11 日 EU・ロ・ウクライナ三者エネルギー閣僚会談。ロシアの最終価格案をウクライナ拒否
- 2014 年 6 月 11 日 EU 理事会、改正原子力安全指令に合意。新たな原子力安全目標や緊急事態準備など規定
- 2014 年 6 月 11 日 欧州委員会、米アップル社らへの税制優遇措置の是非に関して蘭・アイルランドら 3 か国調査
- 2014 年 6 月 11 日 トリシェ ECB 前総裁、次期欧州委員長にユーログループ前議長ユンケル氏を推す意向表明
- 2014 年 6 月 11 日 米農務省、来年度小麦輸出量は EU が 2800 万トンで、米国の 2550 万トン抜き世界一と予測
- 2014 年 6 月 12 日 EU 環境相理事会、遺伝子組換え(GM)作物に対する各国禁止権限を認可。消費者の反発を背景に
- 2014 年 6 月 12 日 EU 一般裁判所、インテルへの EU 競争法違反金 10.6 億ユーロは不当との訴え却下、委員会側勝利
- 2014 年 6 月 12 日 独の欧州懐疑派政党「独の選択枝(AfD)」、英保守党系列の欧州保守改革グループ(ECR)参加
- 2014 年 6 月 12 日 Eurostat、4 月鉱工業生産(季節調整済)はユーロ圏 18 カ国で前月比+0.8%、EU 全体で同+0.7%
- 2014 年 6 月 13 日 キャメロン英首相、仏ル・モンド紙ら欧州各紙にユンケル氏の欧州委員長就任反対の寄稿掲載
- 2014 年 6 月 13 日 Eurostat、4 月対外貿易収支(速報値)はユーロ圏 18 カ国で 157 億、EU28 カ国では 13 億ユーロ黒字

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは佐藤量介 EUSI 研究員に執筆をお願いしました。国際テロ組織アル・カイダは、現在創設以来最大の勢力になっているように見えます。中心地であるパキスタン、アフガニスタンに加えて、アラビア半島、マグリブ、東アフリカなどに強力な地域組織を有し、活発な活動を展開しています。今回は西アフリカのナイジェリアにおけるボコ・ハラムの活動を取り上げ、EU のスタンスや具体的措置等について、専門の国際法の視点を交えながら、大変わかりやすく解説をしていただきました。アフリカ大陸は日本からはやはり遠くに位置していることもあり、多くの日本人にとってはあまり馴染みのない地域です。テロ組織の活動についても、それなりの関心を持っている日本人は少なく、ましてや具体的な脅威を感じている人などはほとんどいないと思われます。一方、ヨーロッパへ行った時など、新聞・テレビなどを通じてアフリカに関する情報が豊富に提供されていることに驚かされることになります。やはりヨーロッパ人にとってアフリカは身近な存在なのでしょう。いずれにせよ、このエッセイからはアフリカやテロに対する EU の苦渋が伝わってくるように思われます。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

サッカーW 杯 2014 年ブラジル大会が開幕しました。
日本代表は残念ながらグループリーグ敗退が決まってしまいましたが、それ

それぞれ思いの最員のチームに声援を送ったりと、寝不足の方も多いかもかもしれません。特にヨーロッパに関心のある皆さんにとっては尚更かと思います。現時点で EU 加盟国のうち、オランダ、フランス、ベルギー、ギリシャはグループリーグ突破が決まり、その他にもドイツも突破する可能性があります。今大会はグループリーグから好カードが多く、前回大会決勝戦のスペイン対オランダ戦がわずかに開幕 2 日目に行われ、オランダが 4 点差を付けて勝利するなど、4 年前の雪辱を果たしました。また今大会は南米での開催というのも手伝ってか、中南米の活躍がめざましく、ヨーロッパの強豪チームがすでに去ってしまいました。前回優勝のスペイン、優勝経験のあるイタリアやイングランド、開幕戦を戦ったクロアチアなど、軒並みグループリーグで敗退しています。そんななかでヨーロッパのチームが王国ブラジルの大会でどこまで突破するか、しばらくは寝不足と格闘の日々が続くかもしれません。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
